

## ●令和4年11月1日 第2回公共施設マネジメント推進委員会

【いただいた主な御意見（地域ごとの資産保有の最適化に関するもの）】

## &lt;最適化を検討する施設の候補&gt;

- ①各施設について、市における全施設を棚卸しした上での老朽化評価と、施設ごとの利用状況評価を両方使うような形になるのでは。（李委員）
- ②優先順位付けの点数が7点だけではなく、6点の施設も考えていくべき軸の1つとする方向もあるのでは。（山口委員）

## &lt;地域への説明&gt;

- ③ワークショップやマネジメントゲームについて地域の方になるべく参加してもらい学習をしていただき、かつ丁寧に説明し、意見交換、アイデアをもらうというようなフェーズが今後必要。（稲生委員長）
- ④4つの指標の上に、川崎市の今後のビジョンがあった方が、なぜその地域や施設が優先なのかという疑問があまり出てこないのでは。（村沢委員）
- ⑤どういう施設を軸としていくのか、市全体の考え方を集約していくことが重要。（木村委員）

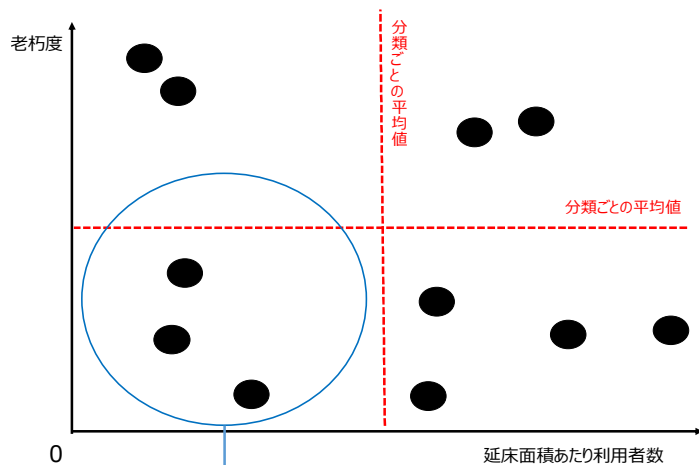
## &lt;最適化の内容&gt;

- ⑥軸となる施設について、複合化だけではなく、民間譲渡や転用も有力な選択肢としてあるということが、もう少しわかる考え方をはっきり示した方がよい。（木村委員）

## 【最適化を検討する施設の候補について】

- 地域ごとの資産保有の最適化検討を行う地域の仮設定、及びモデル地域4地域の選定につきまして、今後の検討イメージも含め、今年2月8日に公表を行いました（資料2）。  
※第2回委員会にて昨年11月に公表する旨報告いたしましたが、再度全体スケジュールを検討し、今年2月の公表といたしました。
- 地域において最適化を検討すべき施設として、検討を行う地域の優先順位付けの際に用いた4指標（規模・老朽度・利用状況・施設のあり方等）を用いたいと考えています。
- 具体的には、御意見いただいたように
  - ・軸となる施設については6～7点の施設
  - ・「ホールのあり方」の対象施設
  - ・その他の最適化を検討すべき施設については、「川崎市公共施設白書」に基づき、施設分類ごとに、老朽度と利用状況、老朽度と年間維持コストを組み合わせ、全市で相対的に利用者数の少ない施設（以下の（イメージ図）参照）等を候補として設定するという方法を考えています。

（イメージ図）



施設分類内で相対的に老朽度は低いが、延床面積あたり利用者数も低い

↓  
最適化検討対象施設の候補に設定（多目的化を検討）

## <御意見をいただきたい内容>

- 最適化を検討する施設の候補選定方法については、行政側の考え方であり、前頁にも記載のとおり、市民と一緒に進めていく取組であることから、市民の意見を反映したものにすることが必要と考えています。
- その方法として、選定方法の案を複数示した上で、アンケート等により市民の意見を確認し、その結果を踏まえて地域と意見交換を行い決定する手法があると考えています。
- こうした手法や、上記老朽度と利用状況等の組み合わせ以外の選定方法について、御意見をいただきたいと存じます。

### 【地域への説明について】

- 取組を進めていくにあたって、御意見いただいたとおり、地域の方々に必要性等を丁寧に説明した上で意見交換等を行っていく必要があると考えています。地域への説明の仕方について、この間、検討を進めてまいりました。
- 説明については資産マネジメント第3期実施方針を基に行っていくこととなりますが、方針では、今後の人口減少や財政負担の増大など、行革視点を打ち出しながら説明していることから、必要性の説明を受けた市民が抵抗感を持つ可能性があると考えています。
- こうした点を踏まえ、
  - ①年齢により利用対象が限定、利用可能な時間帯が存在すること等により、公共施設を使いたいのに使えないという、ニーズと現状（サービス提供）に「ずれ」（ミスマッチ）が発生
  - ②今後の人口減少等により全ての公共施設をこれまでと同様に更新していくことは困難⇒①・②から、「今ある公共施設の使い方」が重要であり、「今ある公共施設を、みんなで大事に賢く使っていく」ために、取組を進めるものである、という説明をすべきと考え、説明資料（資料3）を作成いたしました。

### <御意見をいただきたい内容>

- 地域の方々から、「こうすればもっと良くなる」「新たに施設でこうした取組をしてみたい」といった活発な御意見・御議論がいただければ、取組がより地域ニーズに即したものになると考えています。（参考資料1）
- また、公共施設を普段使っていないの方々からにも意見交換等に御参加いただき、活発な御意見等をいただきたいと考えております。
- 御参加いただく手法としては、無作為抽出のアンケートやワークショップ等があると考えていますが、その他、こうした活発な御議論等をいただくための方法等について、御意見をいただきたいと存じます。

### 【最適化の内容について】

- 地域ごとの最適化については、施設・地域に関する分析を踏まえ、ワークショップ等を通じた意見交換により、「地域ごとの最適化方針」を策定したいと考えています。
- 「地域ごとの最適化方針」のイメージについては、同様の取組を進めている新潟市の「地域実行計画」をイメージしており（参考資料2）、地域における施設ごとの今後の方針について記載することを想定しています。
- その中には、複合化だけではなく、廃止や民間譲渡、存続といった、様々な方向性が可能性としてあると考えています。
- なお、「地域ごとの最適化方針」については方向性までの記載であり、具体的な整備方針については、この方針を踏まえ、個別に策定することを想定しています。

### <御意見をいただきたい内容>

- 新潟市の事例も踏まえ、「地域ごとの最適化方針」には以下の項目の記載を想定しています。
  - ・最適化方針策定の背景（検討の経過など）
  - ・最適化のコンセプト（最適化により、その地域で何の効果を見込むか）
  - ・地域内における施設の最適化方針（多目的化、複合化、転用、廃止、民間譲渡、存続など）及びスケジュール
  - ・今後の進め方
- 上記の項目の他、最適化方針策定に際し、記載すべき内容等について御意見をいただきたいと存じます。